

登録コード	SA801400	開講年度	2026					
授業題目	卒業研究				担当教員	宮西 吉久 他		
英文授業名	Senior Project				副担当			
単位数	12	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期		対象学年	4年
講義室			授業形態	演習	遠隔授業科目		備考	必修 担当教員：数理・自然情報科学科全教員
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】			
	2 6 Sカリ, 2 5 Sカリ, 2 4 Sカリ, 2 3 Sカリ							
	【2023年度以降カリキュラム対象】理学の基礎知識と専門知識を活用して課題を発見し取り組み、その成果を社会に役立てる力				数学の技能を活用し, 数学における計算・理論・概念について説明することができるようになる。			
(2)授業で学べる「テーマ」	その他							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	各ゼミナールごとに個人の輪読形式を基本として授業を進める。							
(5)授業のキーワード	数理・自然情報学の専門的知識を身につける。 数理・自然情報学に関する技術を理解できる。 数理・自然情報学の技能を活用できる。 数理・自然情報学について説明することができる。							
(6)授業計画	各ゼミナールごとに年間の授業計画を立てる。最後のゼミナールの時間に授業アンケートを行う。							
(7)成績評価の方法	卒業研究の研究論文又は研究発表について、非常に優れている者については秀、優れている者については優、ある程度良い者については良、最低限のレベルが有るとした者については可、最低限のレベルもないと判断したものについては不可で判定する。							
(8)成績評価の基準	秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している 優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある 良：授業の達成目標の水準よりやや上にある 可：授業の達成目標の水準にある 不可(D)：授業の達成目標の水準よりやや下にある 不可(F)：授業の達成目標の水準にない							
(9)事前事後学習の内容	ゼミナール終了後に毎回、次回ゼミナールのための課題を出す。							
(10)履修上の注意	卒業研究ゼミナールは、これまで以上に専門性の高い教科書を購読することで現代数学、および数理科学を理解することが目的である。受講者は十分に時間を費やして予習することが求められている。							
(11)質問,相談への対応	各教員が、いつでも対応する。							
【教科書】	各ゼミナールごとに決める。							
【参考書】								